

## 保護者代表謝辞

三年前の入学式。

講堂の窓には絵画のような満開の桜が子供達の入学を祝ってくれているようでした。

親子共に緊張の面持ちで先生方のお話を一生懸命聞いていたことを思い出します。

小学校や中学校とは違い、自ら望んで進んだ鳥羽高校は、子供達にとって憧れと誇りと充実を感じさせてくれる場所となりました。

温かくも厳しい生活指導やクラス一丸となつての「れんが祭」や「鳥羽総体」と、一つ一つの行事や積み重ねた学校生活の中で、すがすがしくたくましい子供達に育ってきたと感じています。

「自由」とは、やるべき事を成してこそ与えられる。

規律とやる気、努力と継続。地道にそして、確実に子供達に染み込ませて下さった鳥羽高校での生活。それらによって人生の基盤が作られたと感謝しております。

そして、最近の風潮として「努力しても報われない努力もある」とか「見た目がすべて」などのわかりやすく切れ味の良い言葉に振り回されることなく、表現されている言葉の深い所に思いを馳せていける人に育って欲しいと願います。

その為には、幅広い年代・職業・学校の方々と交流を持ち、同じ年代の者だけではつかめないような、知識・経験・道しるべなるものを与えてもらえる努力や工夫が必要だと思えます。

卒業後においても鳥羽高校でお世話になった先生方は、一番相談しやすく信頼の置ける存在。願わくは、これからもご指導、ご鞭撻のほどお願い致します。

三年間、子供達を大きく成長させていただいた感謝と御礼を、校長先生はじめ教職員の皆様に心から申し上げます。本当にありがとうございました。ここに卒業生保護者一同のご挨拶とさせていただきます。

平成二十三年三月一日

卒業生保護者代表

浅野 早苗